

公民 活動例B「租税の意義と役割」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（2）イ

○租税の意義と役割

具体的な学習内容

- | | |
|------------------|------------|
| ○国や地方公共団体の経済的な役割 | ○限られた財源の配分 |
| ○国民生活と福祉の向上 | ○社会資本の整備 |
| ○公害の防止など環境の保全 | ○社会保障の充実 |
| ○消費者の保護 | ○租税の意義と役割 |
| ○国民の納税の義務 | |

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・限られた財源の配分という観点から財政について考え、国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割をとらえさせる。
- ・国民生活と福祉の向上を図るための国地方公共団体の経済的な役割とその限られた財源の配分について社会資本の整備、社会保障の充実、租税の意義と役割などを踏まえてとらえさせる。

②身に付けさせたいスキル：

- ・「発信する」（他者に分かりやすく発表する）スキル
- ・財政について多面的・多角的に考察するスキル

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・自分の考えたことを他者に分かりやすく表現する（音声言語と文字言語）スキル

(3) 対象の生徒のイメージ

経験 知識	母国における生活経験などから、税金について知っている。また、日本での消費生活を通して消費税があることについては知っている。
日本語の力	社会的な事象に対する関心や考えを、簡単な言葉で話すことがある。文法や語彙の使い方に誤りが多いが、自分の考えや意見を大まかに表現することができる。

(4) 学習の流れと参加支援の例 (全体の時間数 5時間程度)

時	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つ か む	<p>① 少子高齢化社会を支える社会について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の役割を理解する。 ・ 高齢者福祉施設に聞き取りに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢別の人口のグラフを読み取らせ、日本社会が少子高齢化の問題を抱えていることを理解させる。 ○ 社会保障として具体的にどのようなことが行われているのかを、写真などの資料を利用して伝える。 ○ 租税に関する重要語彙を母語で意味を確認させる。
ま と め る	<p>② 「少子高齢社会における福祉の向上のため、消費税率を上げるべきか、どうか」の論題のディベートの準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会資本の整備など、政府の経済活動に関する新聞記事を集める。 ・ 新聞記事から税金の使われ方を調べる。 ・ 税金が使われているものを身近な所から発見する。 ・ 財政の内容や役割について考える。 ・ 国の歳入と歳出の内容について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や資料集の写真を見たり ①、道路、河川整備などのビデオを視聴させ、イメージをつくらせる。【理解】 ○ 税金の使い道を具多的な例を挙げて説明したり、考えさせたりして、福祉と消費税との関連性を理解させる。【理解】 ○ 経済状況の異なる二人の人物について、収入と支出、納税額と受けている社会保障の具体的な内容を示し、それぞれの立場で、消費税率を上げることによる影響をシミュレーションさせたり、その人の立場で意見を述べたりさせる。 【理解・表現】
発 信 す る	<p>③ ディベートを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディベートのまとめを行う。 ・ 財政政策の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ディベートの仕方を模擬的に演じさせ、根拠を示して主張することや、相手の発言に対する自分の意見を述べることを理解させる。 ○ ディベートで利用してほしい表現を、板書などで明示する。

	・ 国債残高の資料から気付いたことを話し合う。	○ディベート時に生徒が述べた意見や根拠などを板書し、まとめやすくしておく。
ひろげらる	<p>④ 「租税」の意義と役割を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金の種類や内容を理解する。 ・ 税負担の公正さを求めるにはどうしたらよいかについて話し合う。 ・ 「豊かさとはなにか」「豊かな社会とは」について話し合う。 <p>⑤ 話し合った結果を踏まえ、レポートとしてまとめる。</p>	<p>○税金の役割を図式化して示し、これまでの学習と関連づけながら確認する。重要語句の意味の確認も同時に行う。重要語句は、板書やカードで示す。【理解】</p> <p>○「もし国民が税金を払わなければ」「もし国が福祉をやめたら」について話し合う。 【理解・表現】</p> <p>○話し合いの結果をもとに、「日本が国際社会としてよりよい社会になるためには、「私」ができることは何か、「社会」がしなければならないことは何か、話し合う。【理解】</p> <p>○話し合いの要点を板書し、レポートを書くときに利用させる。 【記憶・表現】</p>

※網掛け：(5) 指導案で示す授業

(5) 指導案

① 本時の目標

財政の意義と役割を考え、その内容を理解し、望ましい財政のあり方を考える。

② 本時の展開

学習の流れ上の「発信する」(第4時頃)の指導案例である。在籍学級で行われるディベート学習の流れとその内容をとらえるため、取り出し学級で模擬ディベートを行うこととする。生徒の実態が自分たちでディベートを行えないときは、シナリオに基づいて模擬ディベートをロールプレイ(役割演技)させ、ディベートの方法、内容を理解させる。

学 習 活 動	指導上の留意点、 ★教材	○日本語支援(タイプ)
① ディベート	○模擬ディベート	○VTR②を視聴したり、そ

<p>導 入</p>	<p>のやり方の見通しをもつ。</p>	<p>の役割分担をさせる。その際、賛成側、反対側、そして、フロアの生徒も分けることとする。フロアの生徒には、判定もさせることとする。</p> <p>○論題①、ディベートの進め方、賛成側、反対側を掲示し、賛成側、反対側を対陣させる。</p> <p>★論題①、「ディベートの進め方」</p>	<p>のディベートの一部をシナリオ化して読ませたりして、ディベートのイメージをもたせる。【理解】</p> <p>○「ディベートの進め方」で、これからの学習活動の流れを理解させる。【理解】</p>
<p>展 開</p>	<p>② 模擬ディベートを行う。(VTRを視聴しディベートの流れをつかむ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会資本の整備など、政府の経済活動に関する新聞記事を集める。 ・ 新聞記事から税金の使われ方を調べる。 ・ 税金が使われているものを身近な所から発見する。 ・ 財政の内容 	<p>○ 判定表、自己評価表等を配布し、氏名等を記入させる</p> <p>○ 「少子高齢社会における福祉の向上のため、消費税率を上げるべきか、どうか」の論題のディベートを行わせる。</p> <p>○ 生徒に「少子高齢社会における福祉の向上のため、消費税率を上げるべきである」問題について自分なりの考えをもたせたい。生徒は消費税率上げは、基本的には、「反対」</p>	<p>○ 模擬ディベートの前に自分の考えを簡単にワークシートにまとめさせる。</p> <p>【表現・自律】</p> <p>○ 「租税」「消費税」「福祉」など、ディベートで使う言葉をカードで示しておく。</p> <p>【表現・情意】</p> <p>○ 根拠を基に論を述べるための表現や反論するための表現を板書し、それを利用して模擬ディベートに参加させる。例えば、「反論」を表現する文型を例示する。「～と言っていますが、それならば～と考えます。」「～ならば、～です。」【表現】</p> <p>○ 模擬ディベートで出てきた意見や理由を、教師が板書して、理解を補助する。</p> <p>【理解】</p> <p>○ フロアの生徒には、どちら</p>

	<p>や役割について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の歳入と歳出の内容について調べる。 	<p>なので、その理由が単に「多く税金を負担すること」だけでは、これからの日本の「少子高齢社会」を支えることができないことに目を向けさせる。</p> <p>○税制については、税を取られるという発想に終わらないような注意が必要である。</p> <p>○限られた財源の中で、財源の望ましい配分が大切であることを考えさせる。</p> <p>★VTR②</p> <p>★重要語彙カード③、表現カード④（板書でも可能）</p> <p>★模擬ディベートのシナリオ⑤</p> <p>★ディベートの重要語彙カード⑥</p>	<p>の主張に同意するかを挙手で判定してもらう。【表現】</p>
<p>まとめ</p>	<p>③ 模擬ディベートのまとめを行う。（賛成、反対双方の主な意見を再確認する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政政策の役割を理解する。 	<p>○模擬ディベーターについて評価用紙に評価させる。</p> <p>○生徒が出身国の財政事情について知っていれば、紹介してもらい、比較する。</p>	<p>○模擬ディベートについて、評価シートに「とても、あまり、だいたい」で記入する。（2種類、参加者自身と聞き手）【表現・自律】</p> <p>○模擬ディベートを通して分かったことを、写真カード（表に関連の写真や絵、裏にその説明）を利用して確認する。</p>

〈キーワード〉

財政・歳入・歳出・限られら財源の配分・社会資本・直接税・間接税・少子高齢化・年金・医療・介護・租税の意義と役割

（6）教材・教具、問いかけ・応答の例

①教室の前に掲示するディベートの論題

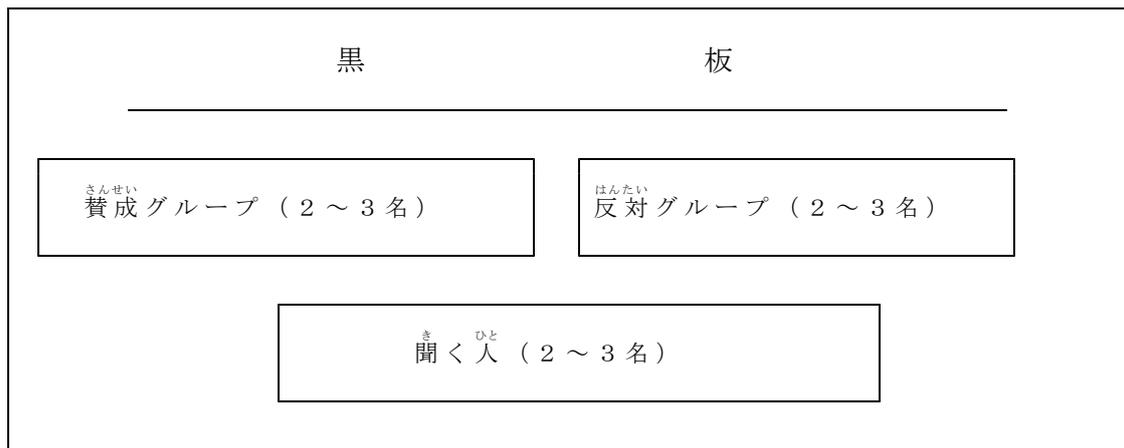
しょうしこうれいしゃかい ふくし こうじょう しょうひぜいりつ あ
「少子高齢社会における福祉の向 上のため、消費税率を上げるべきである」

ディベートの進め方（模造紙に書いて示し、ビデオを視聴後に流れを確認する。一人ひとりにも配布）

ディベートの進め方

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

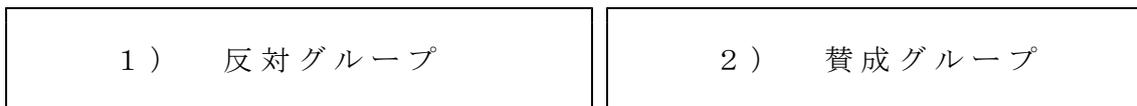
- ① グループに分かれる。賛成グループと反対グループ（2～3名）
 聞く人（2～3名）



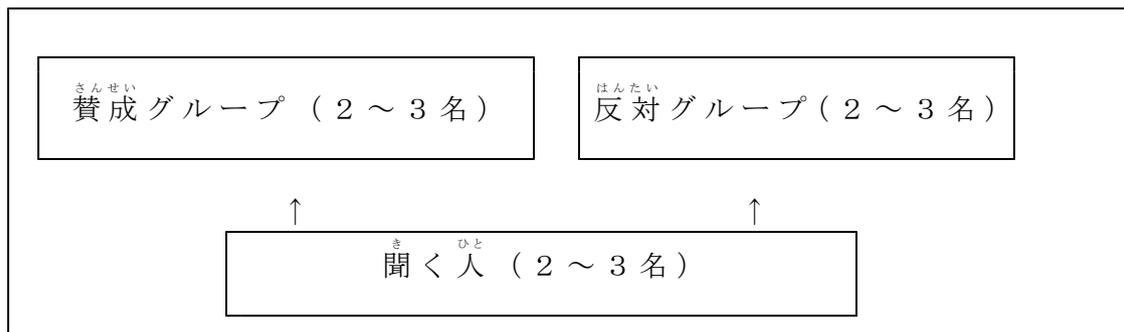
- ② 聞く人に、「賛成か反対か」質問する。
 ③ グループで、意見を言う。必ず理由や根拠も話す。



- ④ 作戦タイム（相手のグループに反論するために相談する）
 ⑤ 相手の意見に反論する。必ず相手の意見の問題点を取り上げる。



- ⑥ 聞いている人からの質問（ディベートを聞いている人たちが質問する）



⑦ 作戦タイム（もう一度意見を言うために相談する）

⑧ もう一度意見を言う

1) 反対グループ

2) 賛成グループ

⑨ 聞いている人に賛成か反対かを聞く。

意見の多い方のグループの勝ち。

ディベートワークシート

ディベートを始める前に、それぞれのグループで、自分たちの意見と、その理由や根拠を話し合い、それをこのシートにメモする。

<h2>ディベート</h2> <p>3年（ ）組（ ）番氏名（ ）</p>
テーマ：
賛成か、反対か：
その理由、根拠：

ディベート判定表（ワークシート）

<h2>ディベートの評価（聞き手）</h2> <p>3年（ ）組（ ）番氏名（ ）</p> <p>今日のディベートはどうでしたか。</p> <p>賛成グループと反対グループ</p> <p>どちらの意見が良かったですか。 賛成グループ 反対グループ</p> <p>いいと思ったグループについて ↓あてはまるところに○を付ける。</p> <p>1・意見を発表するとき、</p>
--

ア・賛成か反対か、はっきり分かりましたか。	とても	だいたい	あまり
イ・理由が論理的でしたか。	とても	だいたい	あまり
ウ・資料や情報をうまく使っていましたか。	とても	だいたい	あまり
2・反対意見を発表するとき			
ア・反対の理由がはっきりしていましたか。	とても	だいたい	あまり
イ・相手の問題点をきちんと取り上げていましたか。	とても	だいたい	あまり
ウ・資料や情報をうまく使っていましたか。	とても	だいたい	あまり
3・もう一度意見を発表するとき			
ア・賛成か反対か、はっきり分かりましたか。	とても	だいたい	あまり
イ・理由が論理的でしたか。	とても	だいたい	あまり
ウ・資料や情報をうまく使っていましたか。	とても	だいたい	あまり

ディベート自己評価表（ワークシート）

ディベーターの評価（参加者）			
3年（ ）組（ ）番氏名（ ）			
評価項目	評価		
1・よく発言しましたか。	とても	だいたい	あまり
2・発言する時、声の大きさや早さ、姿勢はよかったですか。	とても	だいたい	あまり
3・自分の意見の理由と根拠をきちんと言えましたか。	とても	だいたい	あまり
4・相手の意見を反論できましたか。	とても	だいたい	あまり
5・資料をうまく利用できましたか。	とても	だいたい	あまり
6・準備はみんなでできましたか。	とても	だいたい	あまり

② ディベートのVTRを用意し、ディベートの進め方をイメージさせる。

VTR視聴後、その一部分のシナリオを準備し、生徒に演じさせる。

最後に、ディベートの流れ(模造紙に書いた流れとプリントにして配布する資料)を確認する。

③ 【重要語彙】

少子高齢化・年金・医療・介護・財政・歳入・歳出・限られた財源の
配分・社会資本・直接税・間接税・租税の意義と役割

読み仮名をふってあるカードを提示する。〔学習内容に関して〕

しゃかいしほん 社会資本	ざいせい 財政	さいにゅう 歳入	さいしゅつ 歳出	ちよくせつぜい 直接税	e t c
-----------------	------------	-------------	-------------	----------------	-------

意味説明のカードを提示する。〔学習内容に関して〕

しゃかいしほん
社会資本とは？

写真 とどうふけんどう (都道府県道)	写真 しょうちゅうがっこうしゃ (小中学校校舎)
げすいどうこうじ 下水道工事の写真	

④ 授業の最後に、次のカードについてまとめる。

カードのおもて

かぎ ざいげん はいぶん
「限られた財源の配分」とは？

カードのうら

ちほうこうきょうだんたい しゅうにゅう
国や地方公共団体の収入は、
おも じゅうみん ぜいきん
主にその国民や住民による税金
でまかなわれるため、ざいげん しゅう
財源(収入源)には限りがあり、この
にゅうげん かぎ
効率的な配分が図られなければならないということ。

e t c

⑤ 模擬ディベートのシナリオ

取り出し学級の人数に合わせて、生徒をS1～S15までそれぞれ役割分担させる。

ア) ディベートに入る前に (T…教師、S…生徒)

T 物を買ったときに消費税がかかるでしょ？

→

S はい。

T 消費税は何%か知っている？

→

S 5%でしょ。知ってるよ。

T この消費税率を上げようという話があります。知っている？

→

S 何%にするの？やだなあ。だって100円の物が今、105円でしょ。これが110円とかになるの？

T そう。その何%にしたらいいいのか。いや、上げた方がいいということをお話し合いたいわけです。上げた方がいい？それとも、上げない方がいい？どちらですか？

→

S そりゃ、絶対上げない方がいい（反対）！

T 全員が反対（上げない方がいい）だとディベートにならないので、だれか賛成（上げた方がいい）に、まわってくれる人いませんか？じゃ何人かが賛成にまわってくれたので、ディベートを始めます。このプリントを見て、それぞれ賛成、反対の意見を述べてもらいます。

イ) ディベートのはじめの意見（自分の考えを述べること。）

i) 賛成グループのはじめの意見

T 賛成グループのはじめの意見を言ってください。

賛成側

S 1 いま、お年寄りがどんどん増えていきます。つまり、税金を納める人がどんどん減ってきているんです。なので、国民全員が納めている消費税を上げることに賛成します。

S 2 また、子供こどもの数も減ってきているので**少子高齢化**（子供かずの数が減って、お年寄りの数が増えること）がどんどん進すすんでいきます。なので、この少子化対策しょうしかたいさくや高齢者こうれいしゃ（お年寄り）の**年金**（収入しゅうにゅうの少ない高齢者への生活資金せいかつしきんの援助えんじょのお金かね）のお金のためにも消費税を値上げしなければなりません。

← ※ 1

← ※ 2

T それでは、反対グループのはじめの意見いけんを言ってください。

ii) 反対グループのはじめの意見いけん

反対側

S 3 どうして消費税を値上げしなければならないのか疑問ぎもんです（分かりません）。国民こくみんへの増税ぞうぜい（消費税率を上げること。）という方法ほうほうでなく、もっと**税金の使い道**ぜいきん つかみちを考えるべきです。

※ 3 →

S 4 消費税を上げるということは、

国民全員の負担を増やすという
ことです。これは、まず 貧しい人の
負担が増えて、貧しい人の生活
が厳しくなります。これはおか
しいです。

ウ) 作戦タイム (相手のグループに反論するために相談する)

エ) ディベートの反論

i) 反対グループの反論

T それでは、反対グループの反論を言ってください。

反対側

賛成グループのはじめ
の意見の一部 (アンダ
ーラインのところ) につ
いて反論を言います。

S 5 税金を納める人が どんどん
減ってきていますが、それなら
ばお金持ちからもっと税金を
多く取ればいいと思います。

※ 2 →

S 6 少子化対策や高齢者 (お年寄
り) の年金のお金のためには、
まず、少子化を止めることを先
にやればいいのです。子供を増
やすための政策をまずやってか
ら、消費税の問題は考えるべき
です。

ii) 賛成グループの反論

T それでは、賛成グループの反論を言ってください。

賛成側

S 7 税金の使い道を**※ 3**考えるべきと ←

いますが、いま、最も(一番)

多くのお金を高齢者などの福祉

[高齢者がよりよい生活ができ ← **※ 2**

るよう、年金や医療(お医者さん ← **※ 4**

にかかるときのお金)、介護 ← **※ 5**

(からだの不自由な高齢者が生

活しやすいように援助すること)

などに使うこと。]のために

使っているのです。ですから、

消費税を上げなければムリです。

反対グループのはじめの意見の一部(アンダーラインのところ)について反論を言います。

S 8 貧しい人の生活が**※ 3**厳しくなる ←

と言いますが、収入の少ない人

(貧しい人)は、消費(物を買

ったりサービスを受けること。)

そのものが少ないのですから、

それほど生活が厳しくなるとは

限らないのです。逆に、収入の多

い人(豊かな人)の方が、多く

の消費をし、消費税を多く払う

のです。

オ) 聞いている人からの質問〔ディベートを聞いている人たちが質問（分からないことを聞くこと）する。〕

2つのグループ、それぞれに疑問点や意見を述べる。

S 9 賛成、反対それぞれのグループに質問です。
消費税を上げることに賛成、反対することは、
どう国民のためになるのですか。

賛成側

S 10（賛成グループ）消費税を上げると高齢者が生活しやすい国になります。

反対側

S 11（反対グループ）消費税を上げると貧しい人の生活が苦しくなります。

カ) 作戦タイム（相手のグループに反論するために相談する）

キ) ディベートのもう一度の意見（おわりの意見）

i) 反対グループのおわりの意見

T それでは、反対グループのおわりの意見を言ってください。

反対側

※ 1 →

S 12 消費税を上げることには反対です。消費税を上げることで、**少子高齢化**問題が解決するわけでもなく、国民を増税で苦しめるだけです。

S 13 消費税を上げることより、収入の多い人への税金を多くして、貧しい人を助けるべきです。

ii) 賛成グループのおわりの意見

T それでは、賛成グループのおわりの意見を言ってください。

賛成側

S 14 消費税を上げること賛成です。消費税を上げることで、これからの**少子高齢**社会における国の収入が安定し、高齢者も安心して生活できる国になります。

← ※ 1

S 15 また、諸外国の例でも、日本は、世界で最も消費税の低い国の1つです。北ヨーロッパ

の国（スウェーデン、デンマーク、フィンランドなど）のように消費税を上げて、高齢者が安心して生活できる国にすべきです。

⑥ デイバートの重要語彙カード

カードのおもて

※ 1

少子高齢化とは？

カードのおもて

※ 2

年金とは？

カードのおもて

※ 3

税金の使い道とは？
(歳出)

カードのうら

少子化（子供が少なくなる
こと）などによって、高齢者
(65歳以上のお年寄り)
の数が増えてきていること。

カードのうら

収入の少ない高齢者への
生活資金（衣服代や食料費、
住居費など）の援助のお金。
↑衣食住と略して言います。

カードのうら

国民の納めた税金をどの
ように使うのかということ。
実際は、教育費（給食への
補助、教科書代など）、福祉



カードのおもて

(年金、医療など) などに使
われている。

カードのうら

※ 4
医療とは？

カードのおもて

お医者さんにかかるときの
お金 (病気やけがのときに)

カードのうら

※ 5
介護とは？

カードのおもて

からだの不自由な高齢者
が生活しやすいように援助
すること。(からだの不自由な
高齢者への入浴サービスや
車いすのサービスなど。)

カードのうら